

おぐい



2007 11

NO.637

● 広報



シリーズ⑦

おらほの
むら

～みずばしょう会なごの和みサロン～ 平林地区

10月7日、みずばしょう会の和みサロンが老人福祉センターで開催されました。この会は、平林地区の母ちゃんたちで組織されたボランティア団体です。2回目となる今回のサロンでは、口内環境からはじめる健康づくりを学びました。みずばしょう会では、和みサロンのほか、水芭蕉群生地の整備なども行っています。



10月2日、小国小学校で安全マップ贈呈式が行われました。これは、子どもたちが安全に登下校できるようPTAが中心となって製作したもので、通学路の危険箇所などがマークや写真付きで紹介されています。同校の安全マップは平成11年に製作されていますが、道路や交通事情の変化を踏まえて、今回刷新されました。児童や保護者が情報を持ち寄り、事故に遭いそうになったところや、危険な場所などが安全マップに反映されました。

10/2

安全な登下校のため
小国小学校安全マップ贈呈式

白い森発



秋の実りの大収穫祭
道の駅白い森おぐに

10/7~8

10月7～8日、道の駅白い森おぐにで、秋の大収穫祭が開催されました。これは、県内外から多くのかたが訪れる道の駅を会場に、小国町の特産品などをPRするため、道の駅や関係団体が共同で開催したものです。会場内に設けられたテント市では、芋煮やキノコ、雑穀豚汁などが販売され、小国の秋の味覚に行列ができていました。このほか、ポン菓子の実演販売やバンド演奏なども行われ、秋のひとときを楽しむ多くのかたがたで賑わっていました。



10/7

このキノコ、食べられる？
森の恵み直売所でキノコ判別会

キノコ判別会が、10月7日、森の恵み直売所で開催されました。これは、直売所を運営する森林組合がキノコに対する知識を深めてもらうために行ったもので、一般のかたがたが持ち寄ったさまざまな種類のキノコを専門家が鑑定しました。

キノコは、食用、非食用、毒、猛毒などに判別され、植生などを明記したカードとともに、プラスチックケースに入れられ展示・紹介されました。訪れたかたがたは、メモやカメラを片手に、特徴やおいなどを確かめていました。



10/13

木の手触りを楽しむ 白い森住宅工房の木工教室

10月13日、ショッピングセンターアスモ駐車場で、木工教室が開催されました。これは、子どもたちが実際に工具に触れたり、木の温もりを感じたりしながら、もの作りの楽しさを知ってもらおうと白い森住宅工房が企画したものです。

子どもたちは、スタッフの指導を受けながら、電動ドリルやのこぎりなどを使って木材の加工に挑戦し、絵を描いたり、ボンドで貼り付けたりして、昆虫やアクセサリなどの思い通りの作品を完成させていました。



10/21

世代交流で輝く北部地域 ふれあい、いきいき世代交流会

白い森交流センターりふれで、10月21日、北部地区ふれあい、いきいき世代交流会が開催されました。これは、北部地域に住むさまざまな世代の交流と、元気な地域づくりを目指して北部地区振興協議会が毎年開催しているものです。

当日は、約70人の地域のかたがたのほか、行政関係者などが参加して、小・中学生による合唱や朗読などを楽しみました。その後、地域のかたがたによるアトラクションなどを交えながら、今後の地域づくりや地域の課題などについて情報交換を行い、世代間の親睦を深めました。



—この人に聞く—

森とともに



置賜森林管理署
署長 岡部 久氏

小国町は、朝日連峰や飯豊連峰の山々、原生的なブナ林、クマタカなどを間近に見ることができるところなど、自然環境が本場に豊かなところなんです。また、キノコや山菜などの自然の恵みが豊富で、マタギなど伝統的な文化が今も受け継がれているなど、自然と人との関わりも深いものを感じます。

二十一世紀は環境の世紀といわれており、地球温暖化など環境問題が大きくクローズアップされています。自然を守り、自然と共生するということが一層重要になってくるものと思います。

小国町の自然環境や伝統が将来に向けて引き継いでいけるよう、私どもも、森林を守り育てる立場から、皆様方とともに取り組んでいきたいと考えています。なお、当署の概要や管内の山々の様子などをホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

<http://www.okitama-kokuyurin.jp>

小中高一貫教育



“小国町での試みはいま”

平成十三年度から十八年度までの六年間、文部科学省の「小中高一貫教育研究開発学校」の指定を受けて、町内すべての小学校と中学校、そして県立小国高等学校が、互いに連携を図りながら、小中高一貫教育に取り組んできました。町では引き続き、新しい学習のあり方についての研究と実践を継続していくため、六年間の活動をふまえて、町独自の「一貫教育」を展開しています。今回は、その取り組みを紹介します。

一貫教育のあゆみ

け、実践とこれまでの評価・検証に取り組んできました。

昨年度までの六年間を基礎として

本町の「一貫教育」は、平成十一年十月に県教育委員会より、小国中学校と小国高等学校が「中高一貫教育実践研究協力校」の指定を受けたことから始まります。平成十二年には、地域全体で子どもを育てる環境が整っていることなどから、ほかの五つの中学校が加わりました。

平成十三年度からは、小学校を含めた十五校が、文部科学省より三年間の「研究開発校」の指定を受け、さまざまな実践と研究が進められてきました。平成十六年度には、さらに三年間の継続指定を受

昨年度で文部科学省の指定が終了し、これまで優遇的に配置されていた教員数は、小学校と中学校でそれぞれ二名ずつ、小国高校で一名の合計五名が減っています。

しかし、県による「中高一貫教育実践研究協力校」の指定は継続され、小国高校には一名多く配置されています。このほか、教育委員会に配属されている外国語指導助手が、町内すべての小・中学校で、また小国高校に配属されてい

～異文化へのひとり旅～



小国高校3年 塚原瑞貴さん

1人で短期留学に挑戦することになり、はじめは少し不安を感じていました。アメリカ国内での飛行機の乗り継ぎでは、まったく日本語の案内が無いので、地図も言葉も分からないまま、地下鉄を何週もしてしまいました。海外には2年生の修学旅行でも行きましたが、そのときには感じなかった言葉の通じない不便さを実感しました。

ホストファミリーには、現地のきれいな風景を集めた写真集をもらい、観光スポットとなっている山々にも連れて行ってもらいました。みんなとふれあううちに、分からない話でも積極的に聞き取ろうとしたり、話したりしてみようとする自分に気づきました。学校でもパーティーを開いてもらい、いろいろな人と話すことができました。帰りには、プレゼントを沢山もらい、バックが2つ増えました。短い2週間でしたが、友達がいっぱいできたので、いつかまた行きたいです。

参加した白沼中二年の片桐英紀くんは、「難しいけど、楽しい。分からないことがある

ながら英語指導を行うものです。中学生と高校生は、他校との交流を深めるため、学校や学年に関係なくグループごとに分けられ、協力して英語での演劇や紙芝居などに挑戦しました。

る外国語指導助手が高校だけでなく、小・中学校に出向いて授業を行うのは、町特有の指導形態といえます。授業の内容については、特設教科として認められていた「国際・情報」が、今年度から単独教科として認められなくなりしました。しかし、小学生からの英語やパソコンを使った学習を継続していくため、現在は、総合的な学習の時間などを利用して授業を行う、前年とほぼ同様の時間数を確保して、それぞれの学習

に取り組んでいます。

継続していく

「国際・情報」教育

小中高をとおした基礎学力の系統的な指導に加えて、一貫教育では、「国際・情報」が大きな柱となっています。小学一年生から、国際理解教育と情報教育を計画的に実践し、習得した英語とパソコンの活用を図る取り組みが継続されています。全ての学校で英語に触れる機会を提供しながら、

小学校ではアルファベットの習得や簡単な英会話、中学校では英文を使った交流や会話、高校では就学旅行や短期留学など実際に英語圏へ飛び出していくの体験などを行っています。九月二十二日から十月六日にかけては、小国高校三年生一人が、アメリカコロラド州のミッチェル高校に短期留学をしました。

このほか、本年も町内の小学生を対象に、置賜管内の外国語指導助手三人との交流をとおして英語を学ぶ「イングリッシュアドベンチャー・

イングリッシュアドベンチャー・JNSA英語キャンペーン参加者アンケート

	小学生 (21人)	中学生 (28人)	高校生 (7人)
国際で学んだ英会話は役立ったか			
とても役立った	33.3	39.3	42.9
役立った	47.6	60.7	57.1
役立たなかった	14.3	0.0	0.0
ALTや大学生が話す英語が分かりましたか			
大体分かった	28.6	32.1	57.1
半分くらい分かった	71.4	64.3	42.9
あまり分からなかった	0.0	3.6	0.0

リッシュアドベンチャー」を健康の森で開催しました。

また、初めての取り組みとして、中学生と高校生を対象としたJNSA（日本学生協会）基金による「英語キャン

「ともっと知りたくなる」と話していました。



大学生の指導を受けて取り組んだ英語キャンペーンのグループ活動

地域を理解する 白い森学習

生まれ育った地域に関する歴史と文化、それに対する知識と理解を深めるために行っている「白い森学習」。総合的な学習の時間を利用して行われ、調べる力や文章をまとめる力、伝える力の向上に役立っています。このほか、児童や生徒が、直接地域のかたがたとふれあうことで、地域内でのつながりも強まっています。

ています。

白い森学習推進部会の部長を務める北部小の舟山良美教頭は、

「白い森学習は、地域と関係の深いテーマについて進める学習です。地元のかたを講師として迎えることも多いため、地域のみなさんの協力には感謝しています。学習をとおして、これまで以上に学校と地域の距離が近くなっていると感じます。今年は、学習の成果を冊子にして学校間での資料としたり、ポスター形式で取りまとめたり、ポスター形式でも見ていただいたりする予定です」と話されました。

町づくりへの意識を 地域活動への参加

一貫教育では、単に教室での学習だけではなく、地域行事などへの参加も呼びかけています。

活動にあたっては児童・生徒の代表が集まる合同のリーダー研修会をとおして、行事への参加を促しています。各

学校の児童会・生徒会を中心とした学校のリーダー同士が連携して、地域のかたがたの協力を得ながら一斉清掃などのボランティア活動を行ったり、地区対抗の体育行事に参加したりしています。さらに最近では、参加するだけではなく、子どもたち自身がイベントの役員として積極的に参加・活躍している場面も見られるようになってきました。

このような活動によって、子どもたちは、地域のかたと積極的にあいさつを交わすことができるようになり、一層交流が深まってきています。



地域行事に参加して汗を流す子どもたち

社会にふれて 生きる道を学ぶ

十二年間の一貫した「キャリア教育」では、子どもにも労働を体験させることで、自身の生き方や、進路について考えるための意識付けに取り組んでいます。中学校では一年生で家業体験、二年生で職場体験を行い、高校でも、二年生と三年生でインターンシップを実施しています。

中学二年生が行う職場体験では、講師を招いてのマンナー講習会や、子どもたちが自身が事業所との打ち合わせを行うなど、社会と向き合うための準備にも取り組みました。事前に登録していただいている約六十カ所の受け入れ事業所のうち、本年は三十事業所で職場体験が行われました。

毎年、生徒たちを受け入れているしばた屋の柴田伸也さんにお話を聞きました。

「お菓子屋は、外側からは完成したものしか見えませんが、実際に大変なのは中での作業



しばた屋で行われた職場体験の様子

です。子どもたちには、形になるまでの過程を経験してもらったため、片付けや洗いのことから始めてもらうようにしています。接客もさせています。しかし、日がたつにつれて『次は何をしたらいいですか』『うらっしやいませ』と、わずかな数日でもどんどん成長する姿を見せてくれます。

教室や家庭だけではできない社会経験や、ほかの大人たちとの交流から、何か自分の将来につながるものを見つけてもらえればと考えています。私にも中学二年生の子どもが

いるので、送り出す親心も感じながら、子どもたちに接しています」

「丸で取り組む」 地域を担う人材育成

今年度から新たに文部科学省の委嘱を受け、二年計画で「人間としての在り方生き方を考える教育」の実践研究がスタートしています。これは、中学生と高校生を対象として、これまで学んできた白い森学習や職場体験、そしてボランティア活動を含めた幅広い生き方教育の成果を踏まえ、さらに、自律心の向上や思いやりの心の育成を図るものです。十月十六日には、総合センターで、県の担当者や学校関係者らが集い、「人間としての在り方生き方を考える教育実践研究会」が開催されました。研究会では、事例発表に続いて、小国高校で地域文化学の指導にもあたられている東北芸術工科大学の菊地和博准教授の講話が行われ、



学校関係者らによる「人間としての在り方生き方を考える教育」実践研究会

るかたがたの郷土愛を感じます。学校と地域は一体であるべきで、それには地域との関わりが大切」と話されました。

現在の取り組みと地域を担う人材育成について、小国高校の竹田眞知子校長は、

「ワープロ検定などの自主的な資格取得や、海外への修学旅行などをとおして、たくましく成長する生徒たちの姿は、私たちの励みとなっています。一貫教育での取り組みは、青年期の多感な時期に、さまざまな経験や知識を与えてくれます。ここで得た個々

の力は、社会に出たあとも、挑戦する力や、困難に立ち向かう力として、きつと役立つものだと思います」と話されました。



本年7月、ワープロ実務検定試験1級に合格した小国高1年佐野友莉那さん(左)、3年伊藤綴生さん(中央)、山口歩惟さん(右)

今後は、一貫教育を継続しながら、これまで培われてきた自主的・積極的な児童・生徒の活動の成果を評価し、一層のステップアップを目指すことが課題となります。学校や地域、事業所などにより連携を強めながら、町では、引き続き、地域に根ざした特色ある教育環境の実現に取り組んでいきます。

小国町総合防災訓練

「もしも」への心構え

十月七日、大宮・宮の台地区で、平成十九年度小国町総合防災訓練を実施しました。

訓練は、地域のかたがたや消防関係者など約二百五十人が参加して、大規模な地震によって、火災や家屋倒壊が発生をしたことを想定して行われました。実際に災害が起った場合には、消防車や救急車の到着が遅れる場合もあることから、地域住民による初動体制を強化するため、バケツリレーや消火器を使った初期



消火、AEDを使った救急救護訓練などを行いました。

また会場では、発煙器を使った煙体験や、国土交通省の協力による起震車を使った地震体験、人工降雨装置を使った降雨体験が行われ、災害に対する意識を高める一日となりました。



防犯意識を胸に 地域安全運動出発式

町防犯協会よる地域安全運動出発式が、十月十一日、シヨッピングセンターアスモで行われました。

出発式では、日ごろから、防犯の意識を高めてもらおうと、県防犯協会連合会などから、町長に安全運動メッセーヂが手渡されました。その後、関係者によるパレード行進が行われ、犯罪や事故の撲滅を訴えました。



町長室から

小国町長 小野精一

去る九月二十二日、パントマイムの「神様」と呼ばれたフランスのマルセル・マルソー氏が享年八十四歳でお亡くなりになりました。

マルソー氏は、能などの日本の伝統芸能に影響を受け、日本でも精力的に公演を行われてきましたが、平成七年に、現在の森セラピー基地「ブナの森温身平」の特設会場で開催した、第一回小国国際文化フェスティバルをはじめ、本町では六回の公演をいただき、町民の皆さんは世界の至芸に酔いしれました。

平成十五年に山形県を会場に開催された第十八回国民文化祭小国会場での公演が最後となりましたが、日仏の芸術文化の交流と「白い森の国おぐに」の情報を世界に向けて発信していただきました。マルソー氏のご冥福を心よりお祈りいたします。

就任のあいさつ



今 正逸 教育長

小国町教育長の再任辞令をいただき、改めて職責の重さを痛感するとともに、身の引き締まる思いをいたしております。教育界では、教育再生が最重要課題に取り上げられ、

五十九年ぶりに教育基本法が改正されるなど、大きな改革期を迎えています。法改正の背景をしっかりとくみ取り、教育環境の改善に取り組んでまいります。

教育問題は、学校教育に限らず、町民すべての生き方に関わる問題です。幼児から高齢者まで、心豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、より一層力を入れてまいります。

横川ダム

周辺を散策

〜こども愛ランド〜

十月十三日、こども愛ランドが、横川ダム周辺を会場に開催されました。この日は、二十一組の親子が参加し、試験湛水で湖面が広がりつつある横川ダムと、その内部の見学を行いました。その後、叶水ビオトープに移動して、色づき始めた紅葉を眺めながら散策などを行いました。



小国町斎場 完成

十月一日からの供用開始に先立ち、九月二十八日、斎場で火入れ式が行われました。式では、関係者らによって火葬炉のスイッチが一齐に押され、約三十人の出席者は、拍手で新しい斎場の完成を祝いました。

- ① 広々とした和室
- ② コート掛けなどにも配慮
- ③ 白を基調とした告別ホール
- ④ 朝日連峰を望むロビー



人権擁護委員に
宮崎宏夫さん(町原)

新しい町の人権擁護委員に宮崎宏夫さんが委嘱され、十月十一日、役場で山形地方務局より委嘱状が手渡されました。人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する民間のかたがたで、人権侵害に関する相談活動などを行っています。任期は三年です。



渡部一郎さん(町原)に
法務大臣表彰

人権擁護委員として活躍されてきた渡部一郎さんが、法務大臣表彰を受賞され、十月十一日、役場で伝達式が行われました。

渡部さんは平成十年から九年間、人権擁護委員を務められ、人権に関する相談や意識啓発に貢献されています。



置賜ボランティアフェスティバル

10月21日、総合センターで、置賜ボランティアの輪連絡会議が主催する置賜ボランティアフェスティバルが開催されました。

社会福祉協議会などの福祉団体や、ボランティア団体などから約200人が参加して、健康の森横根の散策や、町づくりの講話などが行われ、それぞれの地域で取り組まれている活動について情報交換を行いました。

ボランティア研修会

教育委員会が主催するボランティア研修会が、10月18日、総合センターで開催されました。研修会では、中学生や一般のかたがた約20人が参加して、ボランティア活動についての講話が行われました。このほか、実際にプロの講師を招いて、風船を使ってさまざまなものを作りだすバルーンアートや、シガーボックスなどの大道芸を学びました。



つながるボランティアの心

萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊

第2回目となる萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊が、10月20日、現地で開催されました。玉川コミュニティセンターに集合した県内外からの参加者約90人は、6つの班に分かれて区間ごとに敷石掘りを行いました。この日、弟を連れて初めて参加した小国中1年の佐藤孝典くんは、「土が厚い場所もあって大変だけど、敷石が見えてくると、道を作っているようで楽しい」と、黙々と作業を続けていました。



叙勲を手渡されたご遺族

故 齋藤健一さん(岩井沢) 瑞宝双光章受賞

故齋藤健一さん(平成19年6月30日死去)は、昭和25年に小国村立北小国中学校の教諭となられて以後39年間にわたって教壇に立たれ、町内の各学校で教頭や校長を歴任されました。また、退職後も、社会福祉や文化財調査などの分野で活躍され、町の教育の振興発展に卓越した功績を発揮されました。



第十四回 大里峠越え交流会

町と新潟県関川村が協力して実施している大里峠越え交流会が、十月二十一日、現地で開催され、家族づれなど約百人が参加しました。
小国町側から登った一行は、頂上で記念撮影をした後、関川村側の柄目木(がらめき)を会場に、大里鍋を囲み、雨で冷えた体をあたためながら、交流を深めました。

第二十一回 白い森小国町剣道大会

十月二十一日、コバレントマテリアル(株)体育館を会場に、白い森小国町剣道大会が開催されました。これは、小国町剣友会が主催したもので、今回で二十一回目となります。大会には、小学生から一般まで約五十人の選手が集い、部門ごとに試合が行われました。選手たちは、気迫あふれる大きな掛け声で、日ごろの鍛錬の成果を競い合っていました。



募集

町営住宅入居者募集

■募集住宅

岩井沢勤労者住宅(3DK)1戸

■募集期間

11月1日(木)～8日(木)

■対象

小国町に勤務されているかた

■入居時期

12月上旬

■家賃

四万二千元

■敷金

家賃の三カ月分

■問合せ

地域整備課へ

置賜総合支庁職員を派遣 県政ナビを実施しています

■派遣対象

地区・地域や職域などで構成される団体

■テーマ

①暮らし・保健福祉、②自然・環境、③産業、④県政

一般など、4つの分野においてそれぞれメニューを準備しています。

■費用

派遣費用は無料ですが、会場使用料などは申込団体においてご負担ください。

■申込方法

希望日の3週間前までに申し込んでください。申込書は、総合センターなどに設置しています。

若年者雇用研修会

■申込・問合せ

置賜総合支庁総務課 (☎0238-26-6003) へ

■日時

11月20日(火) 午後3時から5時まで

■場所

タスパークホテル (長井市)

■内容

若年者就労の実態などに関する講演、パネルディスカッションなど

■申込方法

事前に電話で申し込んでください。

■その他

就労定着についての事例発表や人材育成方法についても紹介しますので、管内の事業所から、幅広く参加者をお待ちしています。

■申込・問合せ

ハローワーク長井 (☎84-8609) へ。

催し

福田直樹ピアノコンサート

「音楽はドラマ」をテーマに、モーツァルトやショパンなどの曲を演奏します。

■日時

12月4日(火) 午後6時30分から

■日時

11月17日(土) 午前9時～開会式

■場所 総合センター
■入場料 無料
■問合せ 教育委員会事務局へ

白い森林柔道大会2007

■日時

11月17日(土) 午前9時～開会式

■場所

町民体育館

■内容

団体戦、県選抜対抗戦

■問合せ

小国町柔道会事務局 (佐々木☎62-3835) へ

新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会

～小国大会～

新潟山形南部連絡道路の早期完成に向け、住民大会を開催します。

■日時

11月10日(土) 午後1時30分～4時30分

■場所

町民体育館

■内容

基調講演、意見発表など

■その他

どなたでも参加していただけますので、当日会場においてください。

■問合せ

地域整備課へ

地元選出県議による

地域議員協議会

■日時

11月22日(木)午後1時～

■場所 置賜総合支庁
■内容 地元議員による地域の課題や施策展開の審議を傍聴できます。

■問合せ

県議会事務局政策調査室 (☎023-630-2846) へ

ご案内

狩猟期間がはじまります

県の狩猟期間がはじまります。この期間中は、あらかじめ手続きを行った狩猟者に対して、狩猟可能区域における対象鳥獣の狩猟が認められています。狩猟者が納める狩猟税は、県の環境・鳥獣保護施策に生かされています。期間中の狩猟行為にご理解ください。

■県の狩猟期間

▼カモ類 (11種) 11月1日～平成20年1月31日

▼その他 (38種) 11月15日～平成20年2月15日

■問合せ

置賜総合支庁環境課 (☎0238-26-6035) へ

排水設備工事責任者技術登録更新

日本下水道協会山形県支部に登録している責任技術者で、登録の

相談

年金相談

- 日時 11月21日(水)
受付 9:30~14:30
相談 10:30~
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 社会保険事務所職員
- 問合せ先 町民課へ

人権相談

- 日時 11月16日(金)
受付 10:00~12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町の人権擁護委員
- 問合せ先 町民課へ

弁護士無料相談

町の顧問弁護士が無料で相談に応じます。

- 日時 12月7日(金)
10:00~15:00
- 場所 総合センター
- 申込方法 相談には事前の予約が必要です。12月3日まで申し込んでください。
- 申込・問合せ先 町民課へ

無料税務相談

長井市内の各税理士事務所に於いて、無料相談を実施します。

- 日時 11月16日(金)
10:00~15:00
- 対応者 長井市、飯豊町の各税理士
- 問合せ先 長井税務署総務課
(☎84-1810)へ

無料調停相談

- 日時 11月16日(金)
10:00~15:00
- 場所 桑嶋記念館(長井市)
- 内容 金銭の貸し借り、土地、交通事故などに関する問題や、夫婦・男女間、遺産相続の問題など。
- 問合せ先 長井調停協会
(☎88-2073)へ

国税に関する相談は、11月1日以降、「電話相談センター」を設けてお答えします。また、11月11日~17日までは、「税を考える週間」

税務相談体制が変わります

- 必要手続き
①登録更新の申請
②更新講習会の受講
 - 申請期間 11月1日(木)から12月5日(水)まで
 - 問合せ先 地域整備課へ
- 登録有効期限が平成20年1月31日までのかたは、現在所属している指定工事店所在地の市町村で、更新手続きが必要となります。
- 該当者
登録有効期限が平成20年1月31日までのかた

国に就労する場合は、11月1日~17日までは、「税を考える週間」

福祉の仕事フェア

- 日時 12月13日(木)
午前10時30分~午後1時30分
 - 場所 山形国際ホテル(山形市)
 - 対象者 福祉関連の分野に就労を希望するかた
 - 内容 合同面接会、起業相談、資格取得相談コーナーなど
 - その他 事前申込は不要です。参加費も無料です。お気軽にお越しください。
 - 問合せ先 県社会福祉協議会(☎023-633-7739)へ
- です。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。
- 問合せ先 長井税務署(☎84-1810)へ

福祉の仕事フェア 合同面接会2007

保健カレンダー

■問合せ先 健康福祉課へ

月日	乳幼児健診	受付時間	対象	場所
12/14	1歳6カ月歳児健康診査	12:30 ~ 13:00	18年4月~6月生まれ	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
12/21	4カ月児健康診査	13:00 ~ 13:15	19年8月生まれ	
	1歳児健康診査		18年12月生まれ	

秋の火災予防運動を実施します

11月9日~15日まで、秋の火災予防運動が実施されます。期間中は、午前7時と午後6時にサイレンを鳴らします。乾燥した日が多くなり、火災が発生しやすい季節ですので、灯油などの取り扱いには気をつけてください。

- 逃げ遅れを防ぐため、火災警報器を設置しましょう
- 寝具や衣類は、防災品を選びましょう
- 小さいうちに火を消すため、消火器を設置しましょう
- お年寄りなどを守るため近隣の協力意識を高めましょう
- 問合せ先 消防署小国分署(☎62-2154)

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- ◇夜は短し歩けよ乙女 森見 登美彦
 - ◇にこにこ貧乏 山本 一力
 - ◇陰陽師 夜光杯ノ巻 夢枕 獺
 - ◇独り群せず 北方 謙三
 - ◇捨てる神より拾う鬼 佐藤 雅美
 - ◇ハチミツドロップス 草野 たき
 - ◇手づくりで「いただきます」 黒田 民子
 - ◇小さな犬 町田 尚子
 - ◇おさるのおいかげっこ いとう ひろし
 - ◇おしりかじり虫 うたとおどりのほん うるま でのび
- ※ほか多数入荷しました。

今月の休館日：11月3日、23日、毎週月曜日

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程 11月6日、13日、20日

子育て講座「きび団子作り」、27日、12月4日

■時間 午前10時～11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

■日程と場所 11月1日、15日 総合センター

☆ななかよし広場☆

■日程と場所 11月1日、15日 総合センター

11月8日、22日 おぐに保育園
 ■時間 午前10時～11時30分
 ■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日程 12月8日(土) 9時30分～

■場所 健康管理センター

■内容 エアロビクスとクリスマスグッズ作り

■申込期限 12月6日(木)

■対象者 おおむね2歳からのお子さんとお家のかた

■問合せ先 子育て支援センターへ

求人情報

左の表は10月15日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

企業の子育てを応援します 両立支援アドバイザー

県では、仕事と家庭を両立しやすい環境づくりを応援するため、企業に対して専門アドバイザーの無料派遣を行っています。アドバイザーは、専門知識を有する社会保険労務士です。

子育てを含めて働きやすい職場環境を一緒に考えてみませんか。

■問合せ先

県商工労働観光部雇用労政課
(☎023-630-2378) へ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
医療法人社団緑愛会	2人	グループホーム介護員	不問	7:00～16:00ほか
介護老人保健施設かやきの丘	1人	調理師	不問	9:00～15:45
(有)村上警備保障	5人	交通誘導警備員	18～	8:00～17:00
DoCoDeMoグループ(有)	10人	警備業務	不問	8:00～17:00
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	生命保険営業	25～55	9:10～16:50
南コンスキャンパー第一ホール小国店	1人	ホールスタッフ	18～45	8:00～17:30ほか
	1人	ホールスタッフ	18～45	8:00～22:30(7時間)
ひさご電材(株)小国工場	2人	電気部品製造	不問	8:30～17:30
小国町介護老人保健施設温身の郷	1人	介護員	不問	8:30～17:15ほか
合資会社山佐藤農機店	2人	営業・販売・整備工	20～45	8:30～17:30
猪野電気工事(株)	2人	内・外線工事作業員	18～35	8:00～17:00
(有)蔵王ストア	1人	食堂係	不問	8:45～18:00
	1人	レジ係	不問	8:45～18:00
遠藤建設(株)	1人	土木施工管理技士	21～40	8:00～17:00
	2人	土木作業員	18～55	8:00～17:00
山和建設(株)	2人	土木施工管理技士	30～55	8:00～17:00
	1人	建築施工管理技士	30～55	8:00～17:00
	2人	土木施工管理技士	18～55	8:00～17:00
	2人	重機オペレーター	21～55	8:00～17:00
(株)横川建設	1人	梱包・発送	不問	9:00～18:00
K-PRODUCTS	3人	マシンオペレーター	40歳以下	8:30～17:05
荒川興業(株)	1人	薬剤師	不問	8:50～17:30
電興	1人	薬剤師	不問	9:00～18:30
カインドネス(有)おぐに調剤薬局	1人	医療事務員	20～35	8:30～17:30ほか
第一生命保険相互会社坂町支部	5人	生命保険コンサルタント	25～55	9:00～17:00
(株)井上製作所	6人	マシンオペレーター	18～45	8:30～16:45ほか
小国町森林組合	1人	運転業務	不問	7:30～17:00
	1人	林産業務	不問	7:30～17:00
(株)船山工務店	2人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
アベブランニング	1人	サービス・役務	不問	8:00～17:00
(有)新設・河原角農畜産物加工施設	1人	営業販売	不問	8:00～17:00
アクサ生命保険(株)長井営業所	10人	特別営業職	不問	9:15～17:00
(有)小国測量設計事務所	2人	測量助手	不問	8:00～17:00
(株)ジャンクリエイストスタッフ山形営業所	5人	半導体製造装置製造	不問	8:30～16:40ほか
	2人	設備設計	不問	8:00～17:00
(株)トラスト・テック郡山営業所	2人	設計補助	不問	8:00～17:00
(株)アイコンワールド新潟営業所	5人	石英ガラスの洗浄作業	不問	8:30～16:40ほか
	1人	電気制御設計	不問	9:00～18:00
(株)シーテック山形営業所	1人	生産装置の設計	不問	9:00～18:00
	1人	ホームヘルパー	不問	8:30～17:15
社会福祉法人小国町社会福祉協議会	3人	ホームヘルパー	不問	8:30～17:15(4時間以上)
(有)白い森よこね物産品直売所	3人	販売	不問	9:00～18:00(5時間)
酒味庵まつばら	1人	接客	不問	17:00～21:00ほか
(株)サンエー(マルタ小国店)	1人	販売員	20～45	13:00～19:00
味処藤よし	1人	調理師及び見習い	不問	8:30～22:00
	1人	ホール、接客	不問	17:00～22:00



後期高齢者医療制度が平成20年4月より始まります!

現在の老人医療制度にかわり、高齢社会に対応した仕組みとして、「後期高齢者医療制度」が創設されることになりました。山形県内すべての市町村が加入する『山形県後期高齢者医療広域連合』が制度を運営します。

後期高齢者医療制度のポイント

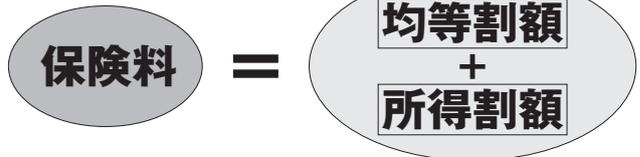


- ①被保険者は、75歳以上のかた（生活保護受給者は除く）及び65歳以上で寝たきり等の一定の障害があるかたで広域連合の認定を受けたかたです。
- ②被保険者証は個人単位での加入となり1人に1枚交付されます。
- ③すべての被保険者の皆様から保険料を納めていただくこととなります。
 健保組合などの被扶養者で、これまで自分で保険料を払っていなかったかたも、後期高齢者医療制度の被保険者となり保険料を負担することとなります。
- ④病気やけがで医療機関にかかったときの医療費の給付や窓口負担割合（一般のかた1割、現役並み所得者3割）は、これまでの老人医療制度と同じです。
- ⑤各種申請や届出の受付・保険証の引渡しなどの窓口業務は市町村で行います。

後期高齢者医療制度の保険料について（平成19年11月に広域連合の議会で決定されます。）

●保険料の決まり方

保険料は被保険者全員が頭割りで負担する「均等割額」と、被保険者の所得に応じて負担する「所得割額」の合計になります。



●保険料の軽減

所得の低いかたは、世帯の所得水準に応じて、下表のとおり保険料の均等割額が軽減されます。

軽減割合	世帯の総所得金額等の要件
7割軽減	【基礎控除額（33万円）】を超えない世帯
5割軽減	【基礎控除額（33万円）+24.5万円×世帯の人数（本人を除く）】を超えない世帯
2割軽減	【基礎控除額（33万円）+35万円×世帯の人数】を超えない世帯

（注）軽減判定は、世帯主と被保険者全員の収入で行われます。

健保組合などの被扶養者でこれまで自分で保険料を払っていなかったかたのうち次のかたは、被保険者の資格を得た日の属する月から2年間、保険料の均等割額が5割軽減されます。

①	平成20年3月31日に健康保険組合や政府管掌保険、共済組合等の被扶養者だったかた
②	平成20年4月1日以降、75歳になって資格を得た日の前日に健康保険組合や政府管掌保険、共済組合等の被扶養者だったかた

●保険料の納め方

- ①年額18万円以上の年金を受け取っているかたは、年金から保険料が天引きされます。
 ※介護保険料と同様の方法で20年4月より天引きされます。年金支給時は、内容をご確認ください。
- ②それ以外の場合は、口座振替や納付書により市町村に納めます。

《お問い合わせ先》

山形県後期高齢者医療広域連合事務局 ☎(023)615-3721
 山形県後期高齢者医療広域連合HPアドレス→ <http://www.yamagata-kouiki.jp/>
 小国町 町民課 ☎62-2261 税務出納課 ☎62-2403

みんなの環

サークルやスポーツ団体など、グループで活動しているかたがたを紹介していきます。今日は、ゴスペルサークル「おどり〜た」。



いきいきと練習にはげむメンバー

こんにちは！ 私たち「おどり〜た」は、ゴスペルを歌うグループで、9月に生まれたばかりのホヤホヤです。ゴスペルは、アメリカの黒人霊歌をルーツとした、熱〜い賛美歌です。歌は英語や日本語で、みんな上手下手は関係なく、大きい声で心からの叫びを歌っています。

毎月第2と第4金曜日の2回、午後7時30分から約1時間、アスモ3階をお借りして練習をしています。現在は、もっぱら12月の発表を目指して練習中。子どもから大人まで、男性も女性も一緒になって、とっても楽しい時間を過ごしています。

メンバーはいつでも募集中ですので、興味のあるかたは、ぜひ見に来てください。ぜひ一緒に歌いましょう！

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 岩井 齋藤 | まなか 愛佳 | (俊英 美樹) |
| 幸町 加藤 | しゅか 朱華 | (欽一 絵理子) |
| 舟渡 佐藤 | まゆ 真優 | (孝太郎 陽子) |

結婚おめでとございます。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (田 沢 頭 荒 木 陽 介) | (長 井 市 高 橋 阿沙美) |
| (中 井 島 山 口 真 一) | (長 井 市 佐 藤 信 子) |

おくやみ申し上げます。

- | |
|--------------------|
| 黒 沢 保 科 ト ミ (84) |
| 北 伊 藤 雍 正 (88) |
| 町 原 塚 原 吉 雄 (82) |
| 小 渡 金 た み (91) |
| 岩 井 沢 井 上 キ ク (84) |
| 岩 井 沢 石 塚 淑 郎 (73) |
| 小国小坂町 近 貞 次 (72) |
| 岩 井 沢 井 上 せ い (88) |
| 驚 安 部 新 子 (81) |

人口のうごき

人口 男… 4,630人(-2)
 女… 4,886人(±0)
 計… 9,516人(-2)
 世帯数 3,270世帯(-1)
 平成19年9月30日

編集後記

先日、町民のかたから一報をいただき横川の白鳥を見にきました。小国大橋の少し下流に、羽休めをしていた四羽を見つけパチリ。結局このままだ動いてくれませんでした。よく見ると、白鳥にも右向きと左向きがいるようです。(片桐)

